

7-18. 文化財

(1) 現況調査

① 調査内容

事業の実施に伴う造成工事により、対象事業実施区域内に埋蔵文化財が遺されている場合には影響が及ぶことが考えられるため、対象事業実施区域における文化財の分布状況について日野町教育委員会に現地調査を委託した。

② 調査結果

日野町教育委員会に依頼した対象事業実施区域内の遺跡等の確認調査結果をp. 554に示す。

現地調査は、令和3年5月1日・2日・11日・14日、6月17日に、現地踏査により行われた。その結果、遺構が存在すると考えられる地形や遺物の散布は確認されなかった。

なお、既知の埋蔵文化財および指定文化財についてはp. 70～71、図4-1-33に示すように対象事業実施区域の周辺では確認されているが、区域内では確認されていない。

(2) 予 測

対象事業実施区域内には既知の埋蔵文化財および指定文化財は確認されておらず、日野町教育委員会による現地調査においても遺構が存在すると考えられる地形や遺物の散布は確認されなかったことから事業の実施による影響はないと予測される。

ただし、現地は樹木が繁茂しており、樹木伐採後に新たに遺跡が確認される可能性も否定できないため、樹木の伐採後に日野町教育委員会に連絡し、協議を行う計画である。

なお、対象事業実施区域周辺の既知の埋蔵文化財については、改変区域外であり、距離も離れているため、事業の影響が及ぶことはないと考えられる。



第 号
令和 2年 7月3/日

日野町教育委員会教育長 様

申請者 住 所 〒 527-0073
滋賀県東近江市蛇溝町 231 番地

氏 名 向茂都市開発株式会社
代表取締役 向 春美
電 話 (0748) 22-5687



連絡先 住 所 〒 520-2511
滋賀県蒲生郡竜王町林 769 番地

氏 名 有限会社村田設計事務所
村田 武史
電 話 (0748) 57-1139



埋蔵文化財確認調査等の依頼について

下記の事業を計画しておりますので、当該地区内の埋蔵文化財確認調査等を依頼致します。
なお、当該調査により発見された遺物についてはその適正な保管のため、文化財保護法 106 条第 1 項の規定による所有者としての現物譲与の権利を放棄します。

記

- 1 事業内容 工業団地の造成
- 2 場 所 蒲生郡日野町大字鳥居平字篠原 1519 番 ほか 146 筆
- 3 敷地面積 606,879.15 m²
- 4 現 況 (山林、雑種地)
- 5 既存建物 有 (撤去予定 令和 年 月 日迄) ・ 無
- 6 調査希望日 (可能日)
令和 2年 7月3/日 ~ 令和 3年10月3/日迄

添付書類

- イ 位置図 (1/2,500 程度)
- ロ 計画平面図・基礎断面図詳細図
- ハ その他 (地下埋設物があればその配置図、土地所有者と申請者が異なる場合は土地所有者の同意書)

日生第062001号
令和3年6月20日

向茂都市開発株式会社
代表取締役 向 春美 様

日野町教育委員会
教育長 安田 寛次



埋蔵文化財試掘調査等の結果について（通知）

令和2年7月31日付けで依頼のありました埋蔵文化財試掘調査等につきまして、令和3年5月1・2・11・14日、6月17日に現地踏査を行った結果、下記のとおり通知いたします。

記

1、場 所 日野町大字鳥居平字字篠原 1519 番ほか 149 筆

2、対象面積 660558.40m²

3、現 況 山林

4、結 果 現地踏査の結果、現時点では遺構が存在すると考えられる地形や遺物の散布は確認されませんでした。よって、現地において試掘等を行う必要はありません。

なお、現状では樹木が繁茂しているため、念のため、樹木伐採後にあらためて、当教育委員会に連絡し、協議して下さい。

また、事業中、遺構等が発見された場合にも、速やかに当教育委員会に連絡し、協議して下さい。

(3) 評 価

①評価の方法

評価は、環境の保全上の目標と予測結果および環境保全のための措置を対比し、その整合性を検討するとともに、文化財への影響が実行可能な範囲内で回避または低減されるか否かについて検討することで行った。

②環境保全のための措置

環境保全のための影響の回避・低減対策は以下のとおり計画している。

A. 工事中

- ・ 樹木の伐採後に日野町教育委員会に連絡し、調査の必要性等について協議を行う。
- ・ 工事の実施中、遺構や遺物が発見された場合は、すみやかに日野町教育委員会に連絡し、協議の上、保存のために必要な対策を講じる。

③環境の保全上の目標

文化財の環境の保全上の目標は、社会環境の保全上支障を招かないことを基本として、次のように設定した。

有形の文化財を損なわないよう、保存と継承を図ること。

④環境の保全上の目標との整合性の検討

対象事業実施区域内には既知の埋蔵文化財および指定文化財は確認されておらず、日野町教育委員会による現地調査においても遺構が存在すると考えられる地形や遺物の散布は確認されなかったことから事業の実施による影響はないと予測され、環境の保全上の目標と整合している。

また樹木の伐採後には日野町教育委員会に連絡し、調査の必要性等について協議を行うほか、工事の実施中、遺構や遺物が発見された場合は、すみやかに日野町教育委員会に連絡し、協議の上、保存のために必要な対策を講じる計画であることから、環境の保全上の目標と整合している。

⑤評価

文化財に対する影響の予測結果と環境の保全上の目標に整合が取れていることから、実行可能な範囲で影響を回避または低減できていると評価する。